

令和7年 年頭所感 置き薬医薬品販売士講習の継続実施と 薬害被害者講習の実施状況

発行：日本置き薬協会事務局

新年、明けましておめでとうございます。配置薬業界、また置き薬協会には常日頃ご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。本年もよろしくお願い致します。

当協会が令和7年度の置き薬医薬品講習の受講内容の検討を行っている中、11月11日に日本薬業研修センターによる「登録販売者 継続的研修 企画有識者会議」がJACDS事務局にて開催。有識者の一人として有馬代表理事が参加させていただいた。「令和6年度登録販売者集合研修の代替臨時的通信研修について」と「令和7年度登録販売者継続的研修の企画について」の二つの内容等が議論され、7年度への共通認識と方向性が示されたと思う。

事務局より「臨時通信研修」のアンケート報告がされ、今後研修で取り上げてほしいテーマは何か、に対し、健康食品（サプリ）や薬、に関して、お客様へ親密かつ適切な情報提供を促せる案件が多数寄せられていた。「夜眠りにつきにくい高齢の方に向けた食事、生活、サプリの使い方について」、「濫用の恐れのある医薬品の販売時のケーススタディ」、「高血圧、糖尿病の方にも安心して案内できる市販薬（風邪薬、胃腸薬）」など難しそうな案件もあり、今後、研修教材専門家会議の先生方に委ねるところだ。

多数の案件のなかでも異色と思えたのが「薬害の歴史」で、これを川嶋光太郎前座長が取り上げられ、置き薬医薬品販売士講習では随分前より薬害被害者連絡会より薬害被害者の講師を会場へ招き講義を受けている、と説明され、事務局もネット配信やビデオなら可能であると補足された。

置き薬講習は諸般の事情で昨年、今年と薬害被害者講習を実施していないが、登録販売者講習で講義に加えて頂けるのは、大変歓迎するところである。以下、過去の実施状況である

2009年度より2012年度は割愛

| | | | | |
|--------|--------|--------|------------------------------------|-------|
| 2013年度 | 3月1日 | 南魚沼 | 全国薬害被害者団体連絡協議会副代表世話人 | 勝村久司氏 |
| | 同 | 3月21日 | 高崎 血友病患者会会長・大阪HIV薬害訴訟原告団理事 | 森戸勝則氏 |
| | 同 | 4月23日 | 東京 陣痛促進剤による被害を考える会代表 | 出元明美氏 |
| 2014年度 | 11月15日 | 東京 | イレッサ薬害被害者の会代表 | 近澤昭雄氏 |
| | 同 | 11月22日 | 南魚沼 イレッサ薬害被害者の会代表 | 近澤昭雄氏 |
| | 同 | 12月13日 | 高崎 陣痛促進剤による被害を考える会代表 | 出元明美氏 |
| 2015年度 | 10月23日 | 高崎 | 大阪HIV被害訴訟原告団理事 | 小山昇孝氏 |
| | 同 | 10月31日 | 南魚沼 全国薬害被害者団体連絡協議会副代表世話人 | 勝村久司氏 |
| | 同 | 11月14日 | 東京 MMR被害児を救援する会 | 栗原 敦氏 |
| 2016年度 | 10月22日 | 南魚沼 | 血友病患者会会長・大阪HIV薬害被害訴訟原告団理事 | 森戸勝則氏 |
| | 11月5日 | 東京 | 陣痛促進剤の被害を考える会・全国薬害被害者団体連絡協議会副代表世話人 | 勝村久司氏 |
| | 同 | 12月9日 | 高崎 MMR被害児を救援する会 | 栗原 敦氏 |
| 2017年度 | 6月2日 | 高崎 | 全国薬害被害者団体連絡協議会 | 間宮 清氏 |
| 2018年度 | 6月8日 | 高崎 | 薬害筋短縮症被害者の会 | 浦部牧子氏 |
| 2019年度 | 6月21日 | 高崎 | 大阪HIV薬害訴訟原告団、血友病患者会 | 森戸克則様 |
| 2020年度 | 6月19日 | 高崎 | 全国薬害被害者団体連絡協議会 | 間宮 清様 |
| 2021年度 | 6月18日 | 高崎 | 全国薬害被害者団体連絡協議会 | 森戸克則様 |
| 2022年度 | 6月17日 | 高崎 | 連合「患者本位の医療を擁立する連絡会」 | 間宮 清氏 |